

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                          |    |        |    |
|----------------|--------------------------|----|--------|----|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービス いまここami       |    |        |    |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年12月1日 ~ 2025年12月19日 |    |        |    |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                   | 31 | (回答者数) | 18 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年12月1日 ~ 2025年12月10日 |    |        |    |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                   | 5  | (回答者数) | 5  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年2月12日               |    |        |    |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること          | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等   |
|---|---|---|--|
| 1 | 5. こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 一つの活動の中に、個々に合った内容を計画し、それぞれに付けてほしい力を考えて取り組んでいる。子どもの強みや弱みを見つけて「どうすれば良いか」を職員間で考えて行っている。  | 活動や個別学習で使うもの（絵カードや自助具）を作成し、子どもたちの「できた！」を増やしていくように取り組んでいく。  |
| 2 | 10. 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。             | 活動後の職員の振り返りを通して、活かす点、反省点を職員で出し合っている。子どもに合った活動なのか、「目当て」は何かを職員は常に意識している。                | 子どもの特性を考え、同じ活動を行う方が良い場合も考えて取り組んでいく。その際は必ずプラスシューアップし、目当てを変える、教材を工夫する、企画する職員を変える等して、活動プログラムの固定化にならないようにしていく。 |
| 3 | 28<br>こどもは通所を楽しみにしていますか。<br>29<br>事業所の支援に満足していますか。  | 活動内容は、保護者のニーズや子どもの特性に合うかを考えて企画している。そこを基本としながらも、子どもが「楽しい」「やってみたい」と思えるように日々工夫しながら行っている。 | 子どもの「できた」「わかった」を増やせるように、学びの時間が楽しくなるような興味関心を持てる工夫や教材を制作していく。またスマールステップを設けることを意識し、より子どもの成長を感じられるように取り組んでいく。  |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること   | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 11<br>放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。   | 子どもたちは事業所内にいるお友達との関わりを学んでいる最中でもあり、中には人との関わりについて段階を踏む必要のある子どももいる。無理な交流が心理的負担となる可能性があるため、地域交流について慎重に判断している。一方で、社会性やコミュニケーションの機会が不要であるとは考えておらず、本人が安心して参加できる環境の中で、段階的に経験を積むことを大切にしている。 | まずは、いまここ他店舗との交流を図り、「普段の先生とは違うが知っている人やお友達」を増やしていく。子どもたちの気持ちや特性を尊重しつつも、社会性や対人関係の幅を広げていくように身近な人たちとの交流を図っていく。 |
| 2 | 14<br>事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。   | 家族支援については、送迎時の助言や日常的な相談対応を中心とした個別対応の形となっているため、支援の実施状況がすべての保護者に認識されていないことがある。また、家族向けの研修会など情報提供できることが少ない。  | 保護者が安心して子育ての悩みごとや相談できるように、個別の相談対応だけでなく、外部の相談支援所や研修案内の情報提供も出来るように、事業所としてアンテナを張っていくように努めていく。                |
| 3 | 18<br>父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 保護者会やきょうだい向けのイベント等については、これまで保護者からのニーズを聞くことが少なく、昨年度は開催に至っていない。また以前一度だけ保護者交流の場として「夏祭り」を実施したものの、初めての取り組みであったため運営が手探りとなり、結果として保護者同士の関わりを促すための支援や働きかけが十分に行えず、職員のノウハウの少なさも要因となる。         | まずは保護者会やきょうだいへの支援について、職員が知識を身に付けることに取り組んでいく。保護者会や保護者交流、きょうだい向けのイベント等の企画が出来るように準備していきたい。                   |